

# 学生協働フェスタ in 東海 2018

## 活動レポート

### ☆ 6月初回ミーティング

6月初旬に、金城学院大学、椋山女学園大学、名古屋女子大学、中部大学commonsサポーター、中部大学図書館サポーターの学生及び職員が集まって学生協働フェスタ in 東海をどのようにやっていくかを考えました。

### ☆ コモンズ、図書館サポーター打ち合わせ

### ☆ 事前リハーサル

### ☆ 前日準備



## 9/11(火)「学生協働フェスタ in 東海 2018」 ~当日の流れ~

### 午前の部

#### 開会 10時～10時10分

学生の学びの場、相互交流の場として創設された本学にある不言実行館、メモリアルホールにて大学の図書館サポーターと教職員 100名以上による学生協働フェスタ in 東海の開会宣言が行われました。



#### 先生方のお話 10時10分～11時30分

中部大学commonsセンター長の伊藤守弘先生の「学生の学生による学生のためのcommonsを目指して—中部大学commons紹介」というお話と、十文字学園女子大学准教授の石川敬史先生の「図書館を奏でる—共に育む成果として—」



## 中部大学付属三浦記念図書館見学

12時15分～12時45分

私たち図書館サポーターが、フェスタに参加した教職員及び学生の皆さんを図書館案内しました。4グループに分け、1、2、3階それぞれの階から案内し、全館を一通り案内しました。

特にサポーターが実施している企画や選書は、時間を割いて説明したので、印象に少しでも残っていたら、嬉しい限りです！拙い説明が分かりにくかったかもしれませんが、一生懸命練習し、練習したことは出し尽くせたと思います。



## 午後の部

### 活動発表

13時～14時10分

昼食後の最初のプログラムは、各大学による活動発表でした。本図書館サポーターからは2名が代表として発表を行い、これまでのイベント企画などを伝える良い機会だったと感じます。また、他大学さんの活動発表を聴くことで、今の自分たちがこれから活かせること、一方で自分たちには足りていないと感じる課題部分も知ることができました。



### サポーター交流会

14時20分～15時20分

交流会では、6名ほどの小グループに分かれて図書館サポーターならではの悩みや各大学の企画、アイデアなどについて意見交換をしました。図書館サポーター活動の継続や企画、モチベーションについての悩みなど、それぞれの大学の考え方や対策があり、それを話し合いながら交流しあいました。また、男女共学の大学と女子大学の違いやキャンパスがふたつある大学の悩みなど様々な発見がありました。



## ポスターセッション

15時30分～16時35分

ポスターセッションでは、中部大学サポーターのコーナーに多くの方がお越しくださいました。中部大学サポーターならではのイベント企画・展示に興味を持っていただきました。特に、ブックレターラリーへの関心が高く、実際に利用している説明資料やコメント用紙をお渡ししました。

一口に本の展示と言っても大学ごとにそれぞれの特色があったのが面白かったです。他大学の活動を知り、私たちの今後の活動に活かしていきたいと思いました。

また、このポスターセッションの時間に、2018年9月6～7日に広島大学で開催された第8回大学図書館学生協働交流シンポジウムでお会いした方と再会することができました。図書館の活動を通じて多くの方々と出会い、交流できる喜びを感じました。



## 閉会

16時40分～16時45分

中部大学の  
ポスター！

## 全体の感想

今回の学生協働フェスタを中部大学で行うと聞いたときは、私たちにそんな大役が務まるだろうかと、とても不安に思いました。ですが、しっかりと準備し、当日も何とか運営できたので、やってよかったという達成感を味わうことができました。

そして、他の大学の方たちと交流することによって、とても参考になったことがありますし、今後どんな企画を実行していこうかという指針が立てることができたので、とても有意義な時間を過ごすことができました！

来年度以降もこの学生協働フェスタを開催していただき、東海地方のサポーターの交流の場を作っていただければ幸いです！



【中部大学図書館サポーター】